

## 学問のホットスポットにて

### 平尾 桂子 2006年研究員プログラム

Dr. Hirao is currently conducting her research at Harvard University on Educational strategies of families and maternal employment: U.S.-Japan comparison.

<Re: ボストン・冬のお鍋フェスタ！>

こんな題名のメールが、今ハーバードとMITに留学中のフルブライターに配信されている。期末試験の打ち上げと忘年会を兼ねて、一緒にお鍋をつつきましようという企画だ。今年度、ボストン/ケンブリッジのフルブライターが集まるのはこれで三回目。

最初は、山本あいさん（2005年）が名簿を作り、懇親会を呼びかけてくれたことから始まった。床に座れば10人くらいはなんとかなるので、私のアパートで集まることに。メニューは手巻き寿司。材料を皆で持ち寄り、大いに食べて、大いに飲んで、しゃべって、笑って、気がついたら日付が変わっていた。

二回目は松谷さん（2003年）のアパートで餃子。今回のお鍋はこれに続く第三弾というわけだ。集いの呼び方も、「会合」、「餃子パーティ」、「お鍋フェスタ」と、ポップな感じにこなれてきた。

私のアパートは「平尾飯店」と呼ぶことにした。期間限定、お客限定、知る人ぞ知る、隠れ家的銘店。

フルブライト・研究員グランティとしてハーバード大学に来て4ヶ月。「恵まれた研究環境」とは、図書館の蔵書数や設備の立派さといったハードウェアの充実度もさ

ることながら、おもしろい人とおもしろい情報が世界中から集まることを指すのだと痛感している。

一流の研究者は仕事時間の半分近くを、人と会ったりディスカッションする時間に充てていると、どこかで聞いたことがある。インターネットのおかげで、居ながらにして膨大な量の情報が入手できる今日だからこそ、実際に人に会い、ナマで議論できることの価値が増しているともいえるだろう。

毎日のように講演会やワークショップが開かれる、そんな学問のホットスポットだからこそ出会えた、若き日本のフルブライターたち。分野を超えて分かち合い、共有できる時間を大切にしたい。

